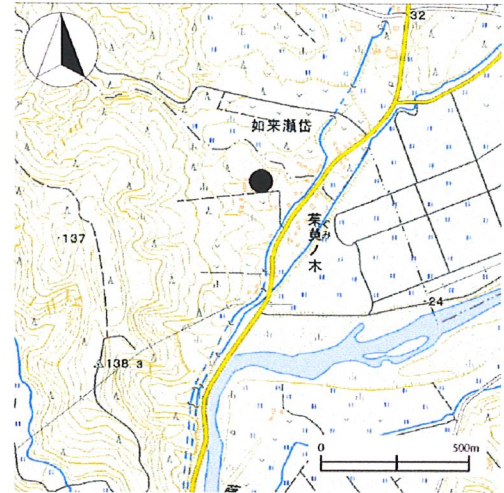


# 茱萸ノ木遺跡（令和2年度）発掘調査資料



調査区全景（南から）



遺跡の位置（●印）

## 1 調査要項

所在地	秋田県能代市二ツ井町荷上場字茱萸ノ木167ほか
遺跡状況	山林
調査面積	3,049㎡
遺跡時期	縄文時代中期
遺跡の性格	集落跡
調査目的	通常砂防工事（オンデの沢）
調査期間	令和2年6月1日～10月30日
調査主体者	秋田県教育委員会
調査担当	秋田県埋蔵文化財センター 文化財主事 小山美紀、文化財主事 大上立朗 文化財主査 高橋和成、文化財主事 小松和平
調査総務担当	副主幹 柴田優、主事 渡辺昂
調査協力機関	秋田県山本地域振興局建設部、能代市教育委員会

## 2 検出遺構と遺物

検出遺構		主な出土遺物
縄文時代		縄文時代 土器、土製品、 石器、石製品
盛土遺構	1基 土坑 64基	
配石遺構	4基 炭窯 1基	
竪穴建物跡	6棟 柵列 1条	
土器埋設遺構	19基 性格不明遺構 6基	
焼土遺構	28基 柱穴様ピット 107基	



### 3 調査のまとめ

茱萸ノ木遺跡は、JR二ツ井駅から北東約3.7km、<sup>よねしろがわ</sup>米代川とその支流である<sup>ふじことがわ</sup>藤琴川の合流地点から北約3.8km、藤琴川右岸の河岸段丘上に立地します。砂防工事に伴い、対象範囲8,238㎡のうち、今年度は昨年度からの継続調査箇所を含む3,049㎡の調査を行いました（写真①）。



調査の結果、<sup>もりどいこう</sup>盛土遺構 1 基、<sup>はいせきいこう</sup>配石遺構 4 基、<sup>たてあなたてものもと</sup>竪穴建物跡 6 基、<sup>どきまいせついこう</sup>土器埋設遺構 19 基、<sup>しょうどいこう</sup>焼土遺構 28 基、<sup>すみやさいこう</sup>炭焼遺構 1 基のほか、<sup>どこう</sup>土坑や柱穴様ピットが多数検出されました。

昨年度からの継続調査となる盛土遺構は、尾根の頂部および南北両斜面を覆う範囲で検出され、さらに北西側へ続くことが判明しました。尾根頂部の地山面からは、縄文時代中期前葉（約5,000年前）の竪穴建物跡や土坑が重複して見つかりました（写真②）。南側斜面に形成された盛土遺構下部からは、廃棄された焼土や炭化物・骨片とともに土器や石器が多数出土したため、南側の斜面を捨て場として利用していたと考えられます。

その後、縄文時代中期中葉から末葉（約4,500





～4,000年前)にかけて、南側斜面から尾根頂部、そして北側斜面の広い範囲に盛土遺構が形成されます(写真③)。地山を削平・造成した平坦面上で、竪穴建物跡などの構築・廃絶、焼土や遺物の廃棄が継続的に繰り返された結果、堆積した盛土の最も厚い地点は約1.5mにも及びます(写真④)。南側斜面では、前段階の捨て場を平坦に削平した後に盛土が形成された痕跡が検出され、ただ単に土を盛っただけではなく整地を伴う一大事業であったことがうかがえます。

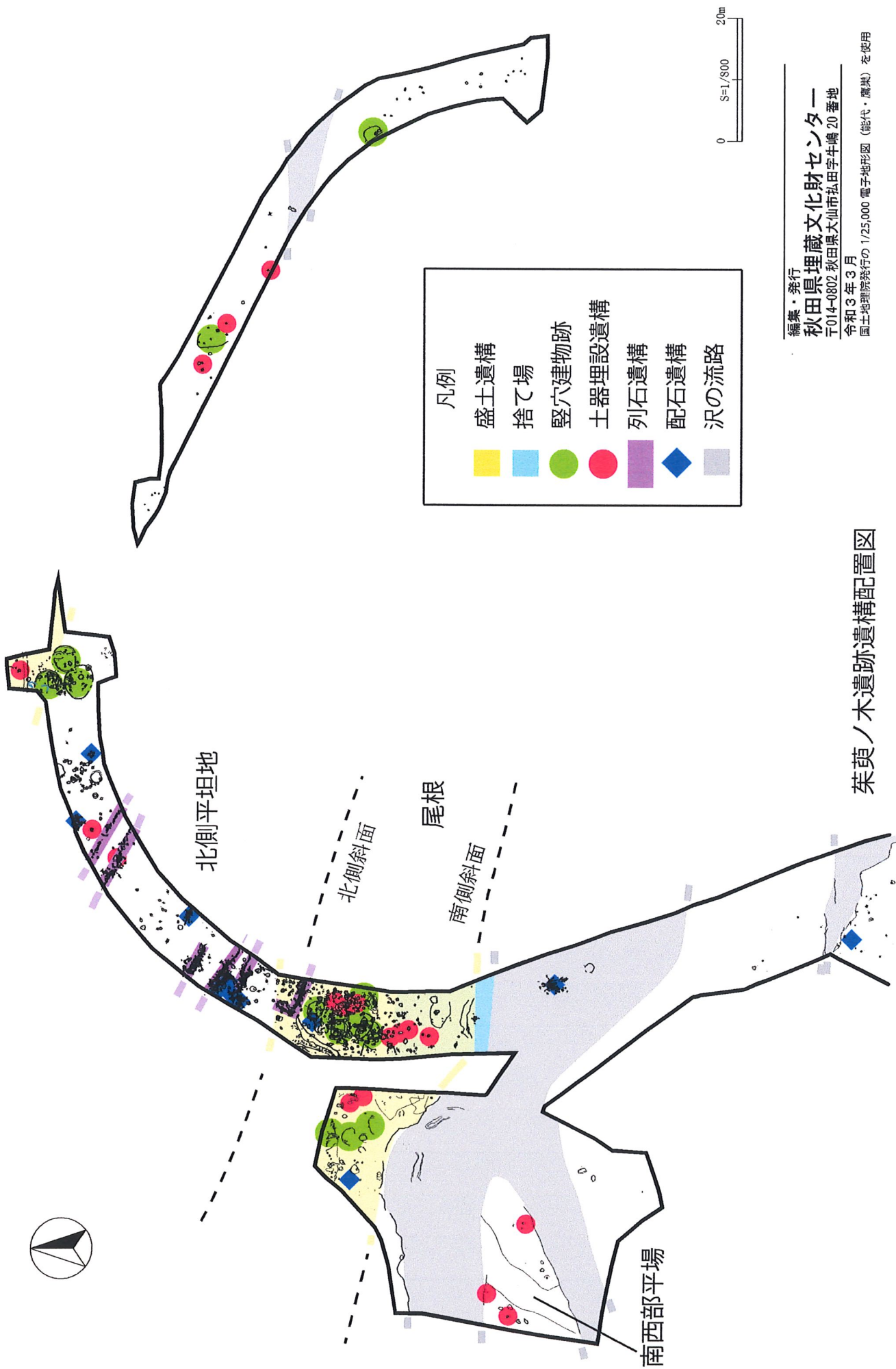
南側斜面上部の盛土中からは、土器埋設遺構が多数検出されました(写真⑤)。土器上部を扁平な礫で蓋をした状態のものや土器内部に礫を入れて埋められたものもみられます。

縄文時代後期初頭(約4,000年前)以降には大規模な盛土の形成は行われなくなりますが、北側斜面裾部から北側の平坦地にかけて、6条の列石遺構れつせきいこうや配石遺構などが作られたことが昨年度の調査で分かっています。竪穴建物跡などの遺構や遺物出土地点は盛土遺構周辺に集中しますが、沢を挟んだ盛土遺構南西部の平場でも縄文時代中期の土器埋設遺構や土坑が検出されたため、周辺の平場も利用していたようです。

今年度の出土遺物は、中コンテナ約520箱分に及びます。昨年度と同様に盛土遺構周辺からは土偶どぐうやミニチュア土器、磨製石斧せきぼうや石棒さいなど祭祀性の強い遺物が出土しましたが、今年度は石冠せつかん(写真⑥)や石製の腕輪など(写真⑦左奥)も出土しました。

調査の結果から、遺跡は大きく三時期に区分でき、縄文時代中期前葉は尾根頂部から南側斜面に居住域・捨て場の形成、中期中葉～後葉は尾根部を中心に大規模な盛土遺構の形成、末葉には盛土遺構の形成が終息し北側斜面裾部～平坦地にかけて列石遺構や配石遺構が構築されたと考えています。次年度は今年度調査区西側の沢部と南側の段丘、約3,230㎡を調査する予定です。





茱萸ノ木遺跡遺構配置図

編纂・発行  
**秋田県埋蔵文化財センター**  
 〒014-0802 秋田県大仙市私田字牛嶋 20 番地  
 令和 3 年 3 月  
 国土地理院発行の 1/25,000 電子地形図（能代・鷹巣）を使用